

平成30年6月10日  
今週のベストショット



青松園A 雁の巣ライナース 対 和白新町パイレーツ戦

全7打点を一人で叩き出した雁の巣ライナース四番・宇野選手はサイクルヒットも達成！

写真：レッドサンデーズ 古賀 開

奈多グラウンド 勝敗を分けたのは、選手交代のタイミング。

塩浜ジャガーズ（3敗）20000 2 久保田●ー橋村

新町ウインズ（3勝）00228 12 早田、藤田○ー吉浦

HR：泉（太）、永渕（新町ウ） 2BH：吉浦、藤田（新町ウ） 盗塁：安藤、桐島2（新町ウ）

試合序盤は塩浜ジャガーズが試合の流れを掴んでいた。一回表二死二三塁の場面で、五番久保田選手のセンター前タイムリーで2点を挙げ先制する。このまま流れをつかみたいジャガーズは、先発久保田投手を軸に危なげなく試合を進める。しかし試合が動き出したのは三回。新町ウインズのピッチャーが早田投手から藤田投手に交代し、一番から始まるジャガーズの攻撃を三者凡退に切って取ると、守備から流れをつかんだウインズは三回裏、先頭の山口選手がレフト前で出塁。続く泉（太）選手が左中間を破るランニングHRを放ち同点に追いつく。ここから調子を上げていく藤田選手は四、五回を三者凡退に抑えチームに勢いをもたらすと、完全に流れを掴んだウインズは四回に2点、五回には永渕選手の値千金の満塁HRも飛び出すなど打者一巡の猛攻で8点を挙げ、終わってみれば12-2の五回コールドで勝利。選手交代のタイミングが一枚上手だった新町ウインズに軍配が上がった。（記事：三苦フレンズ 御手洗 介登、写真：肥喜里 一征）



一回表、ジャガーズ初ヒット立石選手。



一回表、タイムリーを放った五番久保田選手。





一回裏、二盗を決めるウインズ安藤選手。



二回表、藤田投手の守備。



二回裏、吉浦選手のスチールもアウト。



ベストな配球でピッチャーを引っ張った吉浦捕手。



三回裏、2ランを放った泉選手。



四回裏、二塁打を放つ吉浦選手。



四回裏、必死に戻る野中選手。



五回裏、三盗を決める桐島選手。





五回裏、ウインズ六番・永瀬選手の満塁ホームラン。



五回裏、満塁弾に大いに盛り上がるウインズベンチ。



五回裏、試合を決めた藤田選手の一打。

### 雁レク5 エース不在の中、投げぬいた完投勝利、馬場口投手！

三友クラブ (4敗) 2001000 3 足達、矢野●—西田、谷崎

奈多クラブ (3勝1敗) 002002X 4 馬場口○—安河内

HR: 松尾 (三友ク) 3BH: 上野 (奈多ク) 2BH: 松尾 (三友ク)、盗塁: 今林 (賢) (奈多ク)

前日の雨予想から一転、曇り空の下、先週1敗を許した奈多クラブ対今期初勝利を目指す三友クラブとの対戦。先発は、三友クラブ・エース足達投手。奈多クラブはエース不在により、何と打撃の主砲馬場口投手が登板する。一回表三友クラブは、走攻守の揃う一番平田選手が技ありレフト前ヒットにて出塁。続く山本選手は手堅く送りバント。二死後四番松尾選手が豪快な右越え2ランHRを放ちあっさり先制。足達投手のコースをついたコントロールと緩急で、奈多クラブは二回まで4三振と攻撃のテンポを作れない。迎えた三回裏、奈多クラブ先頭打者は昨年還暦を迎えた今林辰也監督。普段はベンチから激を飛ばしているが、この試合は先発出場してショートエラーを誘い自らチャンスメイク。一死後、常に大きな声でチーム内をやじるムードメーカー今林祐将選手が、きれいなセンター前タイムリーでまず1点。続く今林賢人選手も続き同点とする。追いつかれた三友クラブは四回表、こちらもエラーで先頭打者が出塁し、二死後七番大坪選手のライト前タイムリーで追加点。何とか追い付きたい奈多クラブだが足達投手の前に四、五回と無得点。六回裏に入り三友クラブは抑えに矢野投手を送る。しかしここから奈多クラブ意地の逆転劇が幕を開ける。六回裏、自らのエラーから始まり得点をあたえた四番上野選



手が、飛距離十分の左中間三塁打。この日ここまで当たりの出ていなかった五番安河内選手がライト前タイムリーを放ち同点！七番今林（俊）選手がレフト前で繋ぎ、本日ツイてる今林辰也監督へ打順が回ると、一塁ゴロの間に安河内選手が逆転のホームイン！最終七回表、三友クラブは一番平田選手が意地の内野安打にて出塁。続く打者が投ゴロWゲッツー。四番の松尾選手がこの日三本目のヒットで出塁したが、続く1本が出ずゲームセット。本日の試合は、両チーム8本安打同士だったが、エラーが絡んで失点していた。「絶対に負けれない」という強い気持ちが上回った奈多クラブに軍配が挙がった。（記事：ブルーマーリンズ 末松 勝祝、写真：井上 広大）



一回表、馬場口投手の力投！



一回表、平田選手の技ありヒット！



一回裏、先制HRの三友クラブ松尾選手！



まだまだ若い選手には負けられない！今林辰也監督。



三回裏、反撃の狼煙、今林（祐）選手！



三回裏、続けとばかりに今林賢人選手の同点打！





本日のヒーロー！逆転の口火！上野選手と完投勝利の馬場口選手！

### 青松園B サンデーズ川上選手2HR！！大量得点でサンデーズが底力を見せつけた！

ソルトベイスターズ（4敗）0007 7 小山●、中村（耕）、酒井一大門

奈多サンデーズ（2勝2敗）10104 15 砂場○、古賀一野々下

HR：川上2（奈多サ）吉田（ソルト）2BH：野口（ソルト）盗塁 川上、砂場、野々下（奈多サ）

奈多サンデーズ砂場、ソルトベイスターズ小山の好投手の投げ合いで始まったこの試合、先手を取ったのはサンデーズ。初回、先頭打者の川上選手が放った強烈なライナーは右中間をあっという間に抜け、先頭打者本塁打となり貴重な先制点を挙げる。一方ソルトは一、二回と砂場投手から奪った安打は石井選手の中前打1本と打ちあぐねて無得点。ソルトは二回裏の守りで頼みの小山投手が突如肩を痛め無念の降板となり二死から中村選手が緊急登板し多少制球に苦しむもこの回をなんとか乗り切ると続く表の攻撃で一番野口選手が中前打で出塁。勢いのままに盗塁を試みるも野々下捕手の好送球に阻まれてしまい二番吉田選手も出塁するが後続が打ち取られ砂場投手から中々点を奪うことが出来ない。なんとか追加点を阻止したいソルトであったが代わった中村投手が制球に苦しみ四球、安打、四球で満塁とされた後、続く四番野々下選手にも四球を与えてしまい押し出しであっさり追加点を許してしまう。たまたまソルトベンチはここで投手を酒井選手にスイッチするがここからサンデーズ打線が大爆発。近藤、宮口、鳥羽選手の3連打の後、佐護選手は四球を選び九番山田選手が二塁打、さらに無死のまま一巡して一番川上選手のこの日二本目となる本塁打で10点をとるビッグイニングとなった。大差をつけられてしまったソルトだが次の攻撃で意地を見せた。この回から代わった古賀投手の速球にくらいつき相手の失策を誘い、さらに中村選手の中前打や一番野口選手の二塁打、二番吉田選手の右越え本塁打などで一挙7得点の猛追を見せる。しかし守りではやはり投手が制球に苦しみ1安打で4失点を奪われゲームセット。ソルトはエースの故障というアクシデントは悔やまれるが、なによりサンデーズ打線の繋がりが素晴らしい試合だった。

（記事・写真：奈多フェニックス 實延 新伍）



奈多サンデーズ先発の砂場投手。



ソルトベイスターズ先発の小山投手。





先頭打者本塁打 サンデーズ川上選手。



二回表、中前打のソルト石井選手。



技ありの中前打 サンデーズ鳥羽選手。



技ありの中前打 ソルト中村選手。



サンデーズ二番手・古賀風太投手。



豪快なスイングで3ランのソルト吉田選手。

### 青松園A ライナーズ四番・宇野選手が一人で全打点&サイクルヒット達成!

雁の巣ライナーズ (2勝1敗) 2010301 7 有馬○-明瀬(航)

和白新町パイレーツ (2勝2敗) 0000000 0 吉田●-大濱

HR: 宇野(雁の巣) 3BH: 宇野(雁の巣) 2BH: 有馬(雁の巣) 宇野(雁の巣)

盗塁: 中口、池内、明瀬(旭)(雁の巣)

梅雨入りしたものの雨は降らず、曇り空の中で行われたこの一戦は、一人の選手の独壇場だった。雁の巣ライナーズの四番・宇野選手が全打点を叩き出し、サイクルヒットを達成した。宇野選手は、一回表一死一二塁の第



一打席でレフト線に二塁打を放つと、三回表一死二塁の第二打席では、レフト前タイムリーヒット。五回表無死二三塁での第三打席では、圧巻のセンターオーバーの本塁打、七回表無死二塁でもレフトオーバーの三塁打を放ち、快挙を成し遂げた。また投げては、有馬投手がパイレーツ打線をヒット4本に抑え、三塁を踏ませないピッチングで0点に抑えた。(記事：レッドサンデーズ 前田 篤史、写真：古賀 開)



完封勝利の雁の巣ライナース先発・有馬投手。



和白新町パイレーツ先発の吉田投手。



一回裏、レフト前ヒットを放つパイレーツ岡山選手。



二回裏、ショート強襲を放つパイレーツ中島選手。



四回裏、レフトヒットを放つパイレーツ大濱選手。



六回絶妙なバントを繰り出すパイレーツ本堂選手。





二回表、二塁打を放つライナーズ有馬選手。



守備で盛り上げるライナーズ久保田一塁手。



2安打4出塁のライナーズ中口選手。



7打点サイクルヒットのライナーズ主砲宇野選手。



本日大活躍のライナーズ有馬投手（左）と宇野選手（右）。



## 第7週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第7週、6月10日は4試合が行われました。

奈多グラウンドの塩浜ジャガーズ対新町ウインズ戦は、ウインズ先発早田投手の立ち上がりを攻めたジャガーズが2点を先制するも、三～五回で11安打2HRを集めたウインズが2-12で逆転勝利。ジャガーズは二回以降毎回三人で攻撃を終える拙攻が目立った。

雁レク5の三友クラブ対奈多クラブ戦は、奈多クラブエース不在というピンチに馬場口選手がマウンドに上がると、初回三友クラブ四番松尾選手に2ランを打たれるなど8安打されるも3点に抑える。1点ビハインドの六回裏、この日四番に座る上野選手の三塁打に始まり3安打を集めて逆転に成功すると3-4で辛くも勝利。この日は投球に集中した結果が無安打に終わった馬場口選手だが、満足感に溢れた笑顔を見せた。三友クラブは四番松尾選手が大当たりしていただけに、最終回の攻撃が悔やまれる。

青松園Bのソルトベ이스ターズ対奈多サンデーズ戦。サンデーズは二回まで一番川上選手のHRだけだったが、三回表、川上選手の2本目のHRを含む7安打を集中して10点を奪い大量リード。しかし代った古賀投手が四回表にソルト二番吉田選手のHRを含む5安打を集中され7失点。しかしその裏4点を奪ったサンデーズが7-15で勝利。

青松園Aの雁の巣ライナーズ対和白新町パイレーツ戦は、ライナーズ四番宇野選手の打棒が大爆発。二塁打、単打、本塁打と来て三塁打でサイクル達成の第四打席で見事左越えの三塁打を放ち大記録を達成。この大記録にはライナーズ有馬投手がパイレーツ打線を無得点に抑え、最終七回まで試合を進行できたのも大きい。

今週はライナーズ宇野選手のサイクルヒットという記念する試合の主審を務めましたが、7月1日に53歳を迎える宇野選手の活躍に感動と勇気を貰いました。

以前岩崎監督に宇野選手の日々のトレーニングや試合に対する真摯な態度をお聞きしたことがありましたが、我々が見習うべき事柄が多数あり、その積み重ねがこの大記録に繋がったと思います。

WSLの皆さんも負けずに1本でも多くのヒットを打てるように、1つでも多くのアウトを取れるように精進していただきたい。

そのためには前日からの準備、早起きで心に余裕を持って試合に臨むことが大切だと思います。